



流行の唄と踊りて
蘭姫四百のお花見
来日曜、第一公園の賑ひ
縣社のお祭りとは山神祭、日立方面からザツ！と千二百餘名の花見団体が乗り込む。...

局長送迎會
朝夕谷口樓で
佐藤、牛崎新平郵便局長の送迎會は山崎署長、青沼町長、野崎町議、山崎町工務長長諸氏發起の下に...

春は平署にも
署員三十五名に對し
嬉しう増俸
縣下四百三十名の警察官に併せて夏井川改修工事も目的で増俸は昨十五日下馬力をかりて、尙新車では例年通り休業する。...

軍艦「嚴島」小名濱へ
今年度艦上簡閱點呼
本縣の十二年度海軍艦上簡閱點呼は六月四日午後三時小名濱港に在る軍艦時小名濱港埠頭碼頭に於て...

春爛漫の来日曜
産婆さん大會
縣産婆會第一定期總會は五十三歳以上産婆、次いで來る十八日午前九時より第一會所にて産婆會の業...

めじろ
啼調の會
平春吟會の第七回めじろ啼調會は十八日午後一時から町町土器曲石所で開催入選役員は品物を贈る。...

鎌田橋工事
順調に進む
鎌田山と新鎌田橋の架替工事には引續き順調に進んで、コンクリートの橋脚は殆ど立ち揃つてゐる。...

黒田の二才駒糶賣
取引總額九千三百圓
田村村黒田の二才駒糶賣は此程行はれたが出品百四十取引總額九千三百三十圓で平均値は六十六圓六十四銭優良馬左の如し...

精一は働いて
恩に酬ひます
就職力の強い禮狀
平職業紹介所では其後引續きに小卒卒業の就職禮狀に勞めた結果中央送り等を除き八十五名を就職して、...

支部の方針に基き
在軍分會選肅協議
昨夜マルトモで總會
合分會を結成する事に下相談が續つた。

飛行協會から
六百圓
陸海空三部門に
内郷村出身日本作業協會に...

肅正ホスター
小兒遊びの製作
町内三小學校では十六日迄の締切りで児童「肅正ホスター」を製作させた、...

警察博をさるる記
原形場で使用したと云ふ
首切り刀や
一間餘の大釜
二、三事件の指弾刀や...

鬼熊の大録にヒヤリ
大きい五右衛門釜
これは
代ものな時
上は何れも...

吉良家の陣鐘
平城主の遺品
河内山宗俊の遺品と並んで
徳川時代に商家で使用した...

萩原申八氏逝く
葬儀は来る二十日
各方面から惜しまる
平町町萩原申八氏は数日前、...

見習記者
十八才以上、中等學校卒業
朝朝ナル青年、希望者、...

福島民報平支局
平町町五〇
福島民報平支局
平町町五〇

公 告
來ル四月十七日及十八日、兩日縣社
子歛倉神社祭典二付例年通り平町
銀行組合ノ休業二付當組合モ謹クテ臨
時休業仕ヘク候也

市制實施の
躍進的味ひ
新與都市「平」の
味覺行進曲
たひらよらん
土產好適品 一本十錢
松 月 堂 謹製
警 城 平 (電二〇六)

警察博をさるる記
原形場で使用したと云ふ
首切り刀や
一間餘の大釜
二、三事件の指弾刀や...

吉良家の陣鐘
平城主の遺品
河内山宗俊の遺品と並んで
徳川時代に商家で使用した...

萩原申八氏逝く
葬儀は来る二十日
各方面から惜しまる
平町町萩原申八氏は数日前、...

見習記者
十八才以上、中等學校卒業
朝朝ナル青年、希望者、...

福島民報平支局
平町町五〇
福島民報平支局
平町町五〇

警察博をさるる記
原形場で使用したと云ふ
首切り刀や
一間餘の大釜
二、三事件の指弾刀や...

吉良家の陣鐘
平城主の遺品
河内山宗俊の遺品と並んで
徳川時代に商家で使用した...

萩原申八氏逝く
葬儀は来る二十日
各方面から惜しまる
平町町萩原申八氏は数日前、...

會覽博察警
防犯は官民の協力
病室増築、手術室完備
婦人科 醫學博士
平町町五〇 電話二〇六